



学校だより第4号

令和7年6月30日

新宿区立戸塚第三小学校



ながれ

100th Anniversary

認め合うために 関わる、伝え合う、分かち合う、そして「分かり合う」

校長

「相手も自分も大切にする」ということを改めて考えています。

「自分のペースで、思い通りにことが進まないと不満を感じる・イライラする。」「相手にも自分の考え方や同じように動いてもらうことを求めてしまう。」「自分が人に合わせるのではなく、相手がこちらに合わせてほしい。」「どのように付き合ったらいいのかを考えること自体疲れてしまうから一人の方が気楽でいい。」と、ストレスのもとを遠ざけることで、気持ちを保つという方法をとる人が増えている…と、平成の中頃だったでしょうか。社会の状況、ライフスタイルの変化、携帯端末の所持率の増加、SNSの光と影…当時から様々な話題になっていました。月日を重ね、感染症対応を経て、私たちの暮らし方・社会生活・価値観は、また新たな段階へと変化することになりました。自分が遠ざかるだけでなく、ストレスのもとと感じている「そのもの」「そのこと」「その人」自体を批判することや排除することを求める傾向も強くなっているようです。折り合いを付ける、互いにちょっとずつ譲ってみたり、歩み寄ったり、調整したりして、努力してみる、というような、時間がかかる取り組み方や関わり方は、決して「ムダ」なことではないと考えます。物事は、0か100か、勝ちか負けか、白か黒か、損か得か…だけではないはず。嬉しいこと、楽しいことは、きっと「分かち合う」と2倍にも3倍にも感じられます。つらいこと、悲しいことは、「分かち合う」ことで、半分を感じられたり、その感情を少し減らしたりすることができるかもしれません。学校では、関わり、伝え合い、分かち合うことを通じ、様々な思いを共有して、「分かり合える」に導き、互いを認め合う、ということ大切にしています。「分かち合う」ことができるまで、もしかすると時間がかかったり、伝えることが難しかったりすることもあります。やがて「分かり合う」ための過程であると信じて取り組んでいます。

1・2年 遠足

担当 教諭

5月27日に木場公園に遠足に行きました。1年生は初の校外学習でしたが、道の歩き方や電車でのマナーも意識しながら過ごすことができました。

公園では、アスレチックで遊んだり、1・2年合同遊びをしたりしました。アスレチックには、ターザンロープやロープで作られた山があり、どの子も全力で身体を動かしていました。クラス遊びでは、鬼ごっこやだるまさんがころんだなど広い原っぱで色々な遊びをしました。

2年生が遊びのルールを説明したり、お弁当の際も声を掛けたりと上学年として様々な場面でリードしていました。

天候にも恵まれ、仲も深まり実りある一日となりました。

日光移動教室

6年担任

日光移動教室を通してたくさんのことを学びました。振り返りの中から一部ではありますがご紹介いたします。

- ・5分前行動を目標にしました。みんなで協力して時間を伝え合うようにしました。班長の話もよく聞いて素早く行動し、集まることができました。
- ・歴史や自然について学ぶことができました。特に日光東照宮では、昔の人の技術のすごさを実感しました。
- ・鹿や猿などの動物がたくさんいたことにびっくりしました。猿が桜の木を揺らして桜の花びらが鹿のいる方へ舞い落ちたところがきれいでした。
- ・マナーの大切さや歴史の面白さを学びました。一般の方もいるので、迷惑にならないようにすること、あいさつをすることなど、マナーを守ることを心がけました。